

六条大麦の作付面積・生産量・単収（都道府県別）

- 令和6年産の作付面積は全国では19,500haであり、福井県（5,070ha）、富山県（3,660ha）、石川県（1,850ha）の順に多い。
- 平年単収については、全国で310kg/10aであり、愛知県（429kg/10a）、埼玉県（406kg/10a）、長野県（386kg/10a）の順に高い。

都道府県	作付面積		収穫量		単収		平年単収	
	(ha)	順位	(t)	順位	(kg/10a)	順位	(kg/10a)	順位
北海道	20	20	84	19	421	1	367	4
青森	x	-	x	-	x	-	366	5
岩手	83	16	253	15	305	7	247	21
宮城	1,480	6	5,050	5	341	3	350	7
秋田	-	-	-	-	-	-	...	-
山形	14	21	19	21	136	25	129	33
福島	9	24	18	23	200	18	206	25
茨城	1,360	7	2,420	7	178	21	243	22
栃木	1,670	4	3,490	6	209	17	300	18
群馬	490	10	1,460	9	298	9	335	11
埼玉	156	13	466	11	299	8	406	2
千葉	43	18	117	18	272	11	337	10
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	324	14
山梨	40	19	69	20	173	22	220	24
長野	689	8	2,280	8	331	4	386	3
静岡	x	-	x	-	x	-	146	30
新潟	165	12	388	12	235	14	275	20
富山	3,660	2	11,600	2	316	6	305	17
石川	1,850	3	6,090	3	329	5	346	9
福井	5,070	1	12,100	1	239	12	292	19
岐阜	243	11	330	13	136	25	195	27
愛知	96	14	284	14	296	10	429	1
三重	67	17	159	17	237	13	332	13

都道府県	作付面積		収穫量		単収		平年単収	
	(ha)	順位	(t)	順位	(kg/10a)	順位	(kg/10a)	順位
滋賀	1,560	5	5,540	4	355	2	347	8
京都	-	-	-	-	-	-	...	-
大阪	x	-	x	-	x	-	96	36
兵庫	534	9	1,240	10	233	15	309	15
奈良	-	-	-	-	-	-	154	28
和歌山	x	-	x	-	x	-	133	32
鳥取	x	-	x	-	x	-	122	34
島根	9	24	19	21	211	16	137	31
岡山	1	27	1	27	148	23	149	29
広島	88	15	174	16	198	19	228	23
山口	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	x	-	x	-	x	-	205	26
香川	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	x	-	x	-	x	-	-	-
佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	x	-	x	-	x	-	...	-
熊本	10	23	18	23	180	20	308	16
大分	8	26	2	26	25	27	334	12
宮崎	-	-	-	-	-	-	117	35
鹿児島	11	22	15	25	138	24	354	6
沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-
全 国	19,500	-	54,100	-	277	-	310	-

資料：作物統計（令和6年産）

「平年単収」は、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値

はだか麦の作付面積・生産量・単収（都道府県別）

- 令和6年産の作付面積は全国では5,430haであり、愛媛県（1,760ha）、大分県（857ha）、香川県（675ha）の順に多い。
- 平年単収については、全国で299kg/10aであり、滋賀県・佐賀県（374kg/10a）、福岡県（346kg/10a）の順に高い。

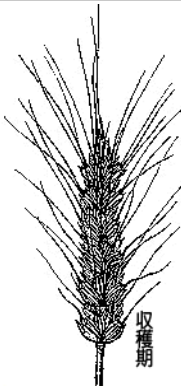
都道府県	作付面積		収穫量		単収		平年単収	
	(ha)	順位	(t)	順位	(kg/10a)	順位	(kg/10a)	順位
北海道	55	14	172	13	313	4	251	15
青森	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城	-	-	-	-	-	-	...	-
秋田	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	-	-	-	-	-	-	90	35
福島	x	-	x	-	x	-	134	32
茨城	223	7	569	6	255	10	281	10
栃木	22	17	47	17	213	13	270	12
群馬	1	25	4	24	395	1	258	14
埼玉	95	12	300	10	316	3	306	7
千葉	x	-	x	-	x	-	264	13
東京	-	-	-	-	-	-	250	16
神奈川	x	-	x	-	x	-	198	21
山梨	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	x	-	x	-	x	-	199	20
新潟	-	-	-	-	-	-	-	-
富山	x	-	x	-	x	-	152	30
石川	-	-	-	-	-	-	-	-
福井	-	-	-	-	-	-	...	-
岐阜	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	8	21	13	21	163	19	245	17
三重	10	19	26	19	260	8	291	9

都道府県	作付面積		収穫量		単収		平年単収	
	(ha)	順位	(t)	順位	(kg/10a)	順位	(kg/10a)	順位
滋賀	87	13	311	9	357	2	374	1
京都	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	122	33
兵庫	194	8	347	7	179	17	193	24
奈良	-	-	-	-	-	-	162	29
和歌山	x	-	x	-	x	-	121	34
鳥取	4	23	8	22	204	14	201	19
島根	20	18	59	15	295	6	277	11
岡山	250	5	763	5	305	5	323	5
広島	33	15	50	16	152	20	190	25
山口	228	6	294	11	129	21	198	21
徳島	8	21	15	20	189	15	177	27
香川	675	3	1,890	2	280	7	317	6
愛媛	1,760	1	4,030	1	229	11	325	4
高知	2	24	1	25	74	24	183	26
福岡	481	4	1,240	4	258	9	346	3
佐賀	145	9	325	8	224	12	374	1
長崎	120	10	210	12	175	18	194	23
熊本	109	11	128	14	117	22	230	18
大分	857	2	1,570	3	183	16	304	8
宮崎	9	20	6	23	68	25	138	31
鹿児島	32	16	36	18	114	23	169	28
沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-
全 国	5,430	-	12,400	-	228	-	299	-

資料：作物統計（令和6年産）

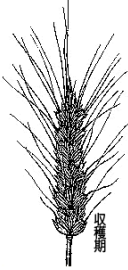
「平年単収」は、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値

小麦の生育ステージと主要作業（都府県 秋まき小麦の例）

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月								
小麦の生育ステージ	 発芽期  分げつ期  幼穂形成期のコムギの幼穂  出穂期   開花期  収穫期															
	播種期 発芽、分げつ開始期 分げつ期 幼穂形成・節間伸張期 出穂期・開花期 登熟期 収穫期															
	<table><tr><th colspan="4">登熟期</th></tr><tr><td>乳熟期</td><td>糊熟期</td><td>黄熟期</td><td>完熟期</td></tr></table>								登熟期				乳熟期	糊熟期	黄熟期	完熟期
	登熟期															
乳熟期	糊熟期	黄熟期	完熟期													
主要作業	土壌改良材散布 排水対策 種子消毒 基肥施用 耕起・破土・整地 播種 除草剤散布  踏圧 分げつ開始前～茎立ち前 土入れ 追肥 除草剤散布 追肥 穂揃期追肥 赤かび病防除 収穫 															

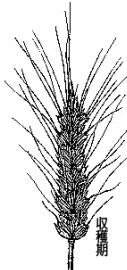
注：栽培時期は九州地方の事例 地域によっては、追肥回数など作業体系が異なる場合もある。

小麦の生育ステージと主要作業（北海道 秋まき小麦の例）

	9月	10月	11月	12～2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
秋まき小麦の生育ステージ	      									
	播種 出芽期 (5～6葉まで生育) 越冬期 起生期 幼穂形成期 出穂期・開花期 登熟期 収穫期									
	【参考】小麦の播種期（H30年産） 十勝：9月27日（平年比遅2日） オホーツク：9月23日（平年比早2日） 全道：9月22日（平年比早1日） ※上川など早い地域では9月中旬から播種 【参考】小麦の成熟期（H30年産） 十勝：7月26日（平年比遅3日） オホーツク：7月29日（平年比遅2日） 全道：7月25日（平年比遅3日）									
主要作業	耕起・破土・整地 基肥施用 種子消毒 排水対策 土壌改良材散布 除草剤散布 雪腐れ病防除 融雪剤散布 麦踏み 追肥 追肥 赤かび病防除 収穫     									

注：北海道秋まき小麦の事例。追肥等の回数等の作業体系は地域によって異なる場合がある。播種及び成熟期の月日については、「北海道米麦改良」139号より引用。

小麦の生育ステージと主要作業（北海道 春まき小麦の例）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき小麦の生育ステージ	  発芽期  幼穂形成期のコムギの幼穂   									
	播種 出芽期 幼穂形成期 出穂期・開花期 登熟期 収穫期 初冬播き栽培の場合の播種期は11月									
	【参考】各地域の29年産小麦の播種期及び成熟期 （播種（括弧内は平年比） 上川：4月21日（早4日） オホーツク：4月16日（早4日） 全道：4月17日（早4日） ※初冬播き栽培の場合は11月09日（空知 ±0） （成熟期（括弧内は平年比）） 上川：8月02日（早2日） オホーツク：8月06日（早2日） 全道：8月3日（早1日） ※初冬播き栽培の場合は7月26日（空知 早1）									
主要作業	土壌改良材散布・排水対策 元肥散布 除草剤散布 麦踏み 追肥 赤かび病防除 追肥 収穫     【参考】主な春まき小麦品種 「春よ恋（H11 出願公表）」 「はるきり（H19出願公表）」									

注：北海道春まき小麦の事例。播種及び成熟期の月日については、「北海道米麦改良」131号より引用。

単収・品質の向上に向けた栽培技術の導入

- **排水性の向上**や**労働時間の短縮**につながる栽培技術の導入、田畑輪換による**地力低下への対策**等を推進することで、単収と品質を向上させ、実需者の求める麦づくりの実現を目指す。
- スマートフォンを用いた診断等により、**個々の圃場環境にあわせた対策**を行える環境整備を進める。

湿害対策

水田の汎用化

- ・排水改良、暗渠排水等導入
- ・補助暗渠等
- ・区画整理



排水対策の強化

- ・補助暗渠施工、心土破砕等による排水性改善



排水対策の見直し・導入

- ・圃場の状況に即した排水対策の見直し、新規導入を呼びかけ

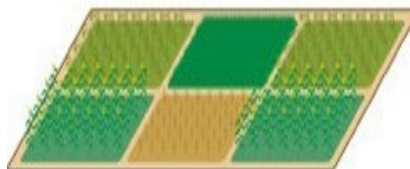


個々の農家のレベルアップ

- ・スマホWeb診断等、生産者自らが圃場毎の低収要因を把握し改善する取組を推進。



水田においても単収・品質の向上を可能にする圃場環境を整備



土づくり

- ・牛ふん堆肥・ペレット堆肥等の実証的な活用による全国的な土づくりの展開
- ・科学的データに基づく土づくり



生産性の高い麦産地の育成

- 産地単位で①農地の集約・団地化、②スマート農業の導入、ICTの活用、③地域に適した品種の導入等に取り組むことで、作業効率の向上による作業時間の縮減、排水性の改善による収量・品質の向上、生産コストの低減といった生産性向上による効果を一層発現させることができる。
- こうした生産性向上に向けた取組を「産地単位」で行えるよう後押ししていく必要がある。

農地の集積・集約化、団地化の推進

地域計画との連携

- ・担い手への集積・集約と作付けの団地化



集約インセンティブの強化

- ・団地化等に取り組む産地への支援
- ・地域集積協力金の見直しによる農地集約のインセンティブを強化

団地の推進



地理空間情報の活用

- ・水田台帳と農地台帳等のデータ連携
- ・データを活用した現状評価と効率的集約を推進

地理情報のDB化・活用



精密な営農管理・生産性向上

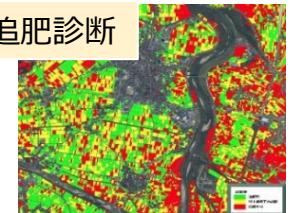
- ・スマート農業技術の導入実証の実施と導入モデル策定、横展開。



- ・シェアリング等により低コストでの導入を促す新たな農業支援サービスの実証

- ・生育予測システムや営農データの活用法の周知・現場への浸透

追肥診断



- ・地域ぐるみのデータを活用した営農体系への転換支援

地域に適した品種導入

- ・地域に最適な稲・麦・大豆の品種の組合せと栽培法の確立実証の実施

センシング技術を活用し品種の組合せと栽培方法を最適化



水田地帯においても生産性の高い麦・大豆産地の造成

